

平成23年5月31日
立川市環境下水道部

下水処理における放射能等測定結果

立川市で汚泥処理を行っている錦町下水処理場の脱水汚泥及び汚泥焼却灰に含まれる放射能の詳細な測定結果並びに施設周辺の空間放射線量の測定結果が出ましたので、お知らせします。

なお、今後も放射能濃度の測定を定期的を実施し、ホームページで公表していきます。

1 放射能量測定結果

試料採取日 5月17日

(1) 脱水汚泥

単位：Bq/kg

施設名	放射性 ヨウ素 131	放射性 セシウム 134	放射性 セシウム 137
錦町下水処理場	1,161	746	923

※ 脱水汚泥は、下水を処理する際に発生した汚泥から水分を取り除いたものです。

※ 放射能量の測定は、外部の専門分析機関に委託しています。

(参考)

原子力災害対策本部が示した、平成23年5月12日付け『「福島県内の下水処理副次産物の当面の取扱いに関する考え方」について』によると、「脱水汚泥のうち、10万Bq/kgを超える物など測定された放射能濃度が比較的高いものについては、可能な限り、県内で焼却・熔融等の減容化処理を行った上で適切に保管することが望ましい。なお、焼却灰については飛散防止のため、容器に封入する等の措置が必要である。」とされています。

(2) 汚泥焼却灰

単位：Bq/kg

施設名	放射性 ヨウ素 131	放射性 セシウム 134	放射性 セシウム 137
錦町下水処理場	不検出	4,820	5,728

※ 汚泥焼却灰は、脱水汚泥を焼却したものであるため、放射能濃度が高くなります。

※ 放射能量の測定は、外部の専門分析機関に委託しています。

※ 測定値が検出下限値未満の場合を不検出とした。

2 空間放射線量の測定結果

測定日 5月26日

単位： $\mu\text{Sv}/\text{h}$

施設名	平均値
錦町下水処理場	0.1

※ 放射線量の測定は、外部の専門分析機関に委託しています。

(参考)

文部科学省ホームページ「全国大学等の協力による空間放射線量」によれば、5月21日～27日の各地区における空間放射線量を1時間あたりに換算した参考値は、文京区 $0.04\mu\text{Sv}/\text{h} \sim 0.21\mu\text{Sv}/\text{h}$ 、府中市 $0.04\mu\text{Sv}/\text{h} \sim 0.08\mu\text{Sv}/\text{h}$ 、目黒区 $0.04\mu\text{Sv}/\text{h} \sim 0.08\mu\text{Sv}/\text{h}$ 、港区 $0.04\mu\text{Sv}/\text{h} \sim 0.13\mu\text{Sv}/\text{h}$ 、八王子市 $0.04\mu\text{Sv}/\text{h} \sim 0.13\mu\text{Sv}/\text{h}$ です。

東京都健康安全研究センターにおける「都内の環境放射線測定結果」によれば、5月21日～27日の1日単位の測定結果の平均値は、新宿区百人町 $0.0610\mu\text{Sv}/\text{h} \sim 0.0632\mu\text{Sv}/\text{h}$ です。

3 今後の対応

- 市では、東京都を通じ、国に汚泥焼却灰に関する基準の策定等を要望しております。

問い合わせ先

立川市 環境下水道部 下水処理場

電話 042-523-1448